



イラクの人道支援 「イスラーム国」を乗り越えて

講師: 佐藤真紀さん

(JIM-NET(日本イラク医療支援ネットワーク)理事)

2003年のイラク戦争では、劣化ウラン弾が使用され、がんの子どもたちが増えました。子どもたちの医療支援を行なおうと設立されたJIM-NETは、2009年には治安が安定しているクルド自治区の首都アルビルに事務所を構えました。しかし、2014年以降は、「イスラーム国」がモスルを占領してしまい、多くの避難民がアルビルにも逃げてきました。

本講演では、支援したがん患者を通して、戦争と人道支援を考えます。

講師紹介:

奈良県生まれ 早稲田大学工学部卒業。
(株)ブリヂストンで研究員として勤務。青年海外協力隊でイエメンに赴任するも内戦勃発、その後シリア、パレスチナで活動、国連ボランティアなどを経て、JVCパレスチナ事務所代表、2002年からイラクにかかわり、イラク戦争では、緊急救援を指揮。2004年にイラク医療支援ネットワークを立ち上げ現職に。
2005年から5年間、JANICで危機管理安全管理研修の助言委員として、NGOのための危機管理研修をコーディネートした。中東を拠点に活動する他、学会発表から子ども向け絵本や、ワークショップと幅広い活動を行っている。
2004年にイラク医療支援ネットワークを立ち上げ現職に。



グローバル関係学

E-mail:

gblcrss@chiba-u.jp

日時 2019年5月29日 (水)

10:30-12:00

場所 文学部棟二階 203教室

科研費
KAKENHI

科学研究費補助金
新学術領域研究